



(大谷内委員)

- ・私どものグループホーム芝浦でも、土日に自宅へ帰る利用者が多い実情です。そのため、イベントはいつが適しているか、いつも考えながら実施しているところです。同じように、事前にイベント参加の希望を募ると、イベントがある週末は自宅へ帰らない利用者もいるので、工夫をしながら進めています。
- ・この施設の利用者は障害の程度が比較的軽いようなので、利用者自身が自己主張、意思決定をしやすく、イベントも楽しまれている様子が伝わってきます。一方、グループホーム芝浦の利用者は、障害の程度が比較的重く、利用者の平均の障害支援区分は4.5で、この施設の倍近くあります。そのため、自己主張、意思決定が汲み取りづらい利用者も多いのですが、そのような中で、どのように意思決定を支援していくか、今後の我々の課題の一つとなっています。
- ・町会の防災訓練は、平日昼間に実施されていますが、グループホームの各利用者は、日中、就労継続支援など通所先に通っているためなかなか時間が合わないことも多いです。町会の皆様におかれましては、平日昼間、利用者は皆さんそれぞれ活動に出ている時間ということで、ご理解いただければと思います。

(稲垣委員)

- ・週末に利用者が自宅へ帰るのは、全員なのでしょうか。

(橋本会長)

- ・場合によります。自宅へ帰ることが前提ではなく、希望制です。ただし、職員体制は利用者が全員施設にいる想定で常に整えています。

(稲垣委員)

- ・施設で生活する以上、原則的には、施設の中で生活習慣を身に付けていくべきではないでしょうか。

(橋本会長)

- ・生活習慣を身に付けるという意味では、朝起きて、昼間は活動に出かけて、夜はお風呂、食事、部屋の掃除など、一連の流れの習慣・訓練として実施しています。

(利用者)

- ・自分も土日、家に帰っていますが、平日はこの施設でしっかりリズムを付ける生活を送っています。入居前は洗濯・掃除ができませんでしたが、今は取り組めるようになりました。たまに疲れてしまう時もありますが、その時は土日に家でゆっくり休むこともリズムの一つとしています。

(稲垣委員)

- ・区に伺いたいですが、グループホームは、本来、生活習慣を身につける必要のある方が来て生活する場所のはずなので、土日の過ごし方についても、行政として考えてもらいたいと思っています。

(高尾委員)

- ・区としても、この施設で生活する利用者お一人おひとりの生活習慣が整うための支援ができていくかどうか、今後も施設と話しながら、しっかり確認していきたいと考えています。

(村田委員)

- ・先ほど話題にあげた3月の防災訓練についてですが、時間帯は平日の夕方になります。これは、この地域が日中、事務所など勤務者の方が非常に多い場所ということから、今回は、そのような方に

参加いただくことを想定したという趣旨になります。この施設の利用者は参加できないかもしれませんが、職員の方々には参加していただきたいと思っています。また、防災訓練は3月実施の回のみではなく、様々なパターンも想定しながら継続していきたいと思っていますので、ご理解をよろしくお願いいたします。

(利用者)

- ・自分の通所先で、今度バスハイクがあるので、それを楽しみにしています。

(橋本会長)

- ・それは楽しそうな予定ですね。

(秋元オブザーバー)

- ・区内のグループホームの職員についてです。私は、グループホームの職員は、なるべく常勤職員であって、福祉系の国家資格などを有している方がより望ましいと考えています。非常勤職員が多くなると、運営において安全安心に関わる問題が起きた場合、誰が責任を取るのか、といったことになると思います。本日の資料で、区内グループホームそれぞれの職員のうち、常勤、非常勤の内訳、また、有資格者人数を出してもらっていますが、やはり、常勤職員が多く、有資格者が多い施設は、運営が安定しているように見えます。一方で、有資格者がいない施設もあります。この状況に対して、区は今後どのように考えていきますか。

(高尾委員)

- ・運営上、区が関わりのある施設については、今後、各施設の職員構成も見ながら、必要に応じて指導していくことで考えています。

【閉会】

(橋本会長)

- ・本日は様々な意見ありがとうございました。いただいた意見を施設運営に活かすとともに、施設からお示しできる資料についても、今後お示していきます。
- ・次回の地域連携推進会議は、事務局から改めて委員の皆様にご連絡します。よろしくお願いいたします。

【終了】